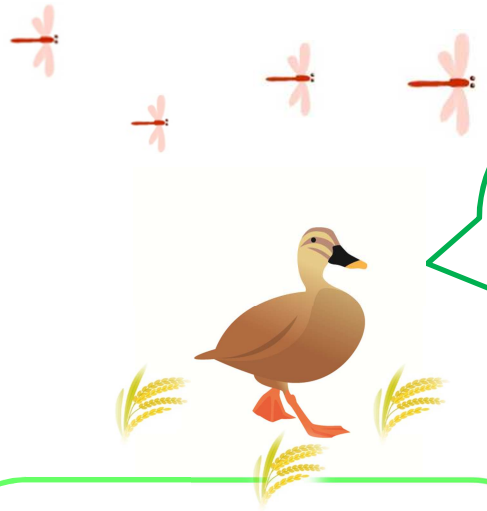
生きもの育む田んぼプロジェクト 2018
in
CO 江戸かわごえ初雁の里

参加者募集！

～生きものと人にやさしい農法の田んぼでご一緒に楽しく学び、自然体験をしませんか～

田植えや稲刈りの他にも田んぼの生きもの調査、野草を食べる、マコモタケと新米による収穫祭など年間を通して様々な催しをご用意しております。



（こんな方にお勧め）
＊土や自然に触れたい
＊有機稲作を知りたい方
＊安心安全なお米を食べたい
＊子供に食や生きものの
　大切さを伝えたい

（無料説明会日程）
＊第 1、2 回とも同じ内容です。ご都合のよい方へご参加ください＊
第 1 回　3 月　3 日（土）
第 2 回　3 月 18 日　（日）
（スケジュール）
13:20～13:30 受付
13:30～15:00 説明会
15:00～16:00 移動及び現地説

（会場）川越市北部地域ふれあいセンター/川越市山田 1578-1　<駐車場あり>　電車の方は川越駅東口から「川越 02」バス乗車約 12 分, 浄国寺下車徒歩 5 分。

お申込
NPO 法人かわごえ里山イニシアチブ
http://kawagoesatoyama.ciao.jp
担当:柏井喜代恵
① お名前 ②参加人数（乳幼児をお連れの方はご年齢）
② 連絡先 ④交通手段 ⑤希望日程　を添えて下記へ
hatsukarinosato@googlegroups.com　090-9678-1338

NPO 法人かわごえ里山イニシアチブでは
渡り鳥が舞い戻ってくるような生態系ゆたかな自然と田園風景を目指して、川越市福田地域の田んぼを「CO 江戸かわごえ初雁の里」と名付け、お米とマコモタケをつくっています。農家さんの協力のもと、民間稲作研究所の有機稲作を取り入れています。

公益財団法人サイサン環境保全基金助成事業

かわごえ里山イニシアチブ
Kawagoe Satoyama Initiative

みんなで、無農薬による
お米作りをしませんか！

２０１８　小江戸･初雁の里
生きもの育む
田んぼプロジェクト

主催: NPO 法人かわごえ里山イニシアチブ
耕福米髙梨農園･小林農園
協力:NPO法人民間稲作研究所

2018年度〝生きもの育む田んぼプロジェクト〟

■「生きもの育む田んぼプロジェクト」とは

地域活性化・風致ゆたかな田園都市へ！

川越市の北部に位置する福田地域は、入間川をはじめたくさんの河川が合流する氾濫源。低湿地の肥沃で水田農業が盛んな地域です。名前の通り昔から美味しいお米を産出し水運により市西部の畑作地帯の”川越いも”と共に江戸幕府への”献上米”としても届けられていました。中心地域の町場（小江戸）と取り囲む三富など畑作・樹林地と・水田農業集落が有機的に結びついた豊かな文化が花開いた地域です。

小規模・家族農業による新しい暮らし方を！

近年は経済のグローバル化、急激な少子高齢化の進行は、第一次産業の衰退、担い手不足は農地の荒廃、地域自然の環境悪化を引き起こしています。そして、人は生業（なりわい）としていた「農」との関わりをなくし、食の安全・心身の健康までも不安なものにしてしまいました。市民・非農家も担い手として地域農業を農家とともに担う発想の転換へ。

自然に触れたい！　生きもの・命の大切さを学びたい！

私たちは田んぼ活動「生きもの育む田んぼプロジェクト」は農家・非農家が協働していきます。地域コミュニティづくりを「農」を出発点として人と生きものにやさしい地域づくりを再生していこうと考えました。

すべての世代が田んぼに集い交流しよう！

2005 年吉田地区で始まった社会福祉法人健友会・医療法人西部診療所は「地域づくりプロジェクト」を開始し、課題の一つとして田んぼ活動「みなみかぜいきいき田んぼの会」が原点でした。一田んぼは農薬や化学肥料を使い「米」だけをつくる現在の農法へ、年寄りは特養施設、幼児は保育園を収容所のように孤立化させ、効率・箱ものづくりの追求から地域で共助して暮らし又、多様ない生きもののとともに育つ稲のように「脱施設による医療・保健・福祉運動」「生物多様性農法による米づくり」の実践を着手しました。地域・施設の高齢者を中心に施設職員、幼児を含む親子世代など世代間交流として 10 年続いてきました。年間 1000 名を越す参加者の年もありました。一

■生物多様性を活かした米づくり

・この農法はアジアの豊かな自然環境を活かし、生きものの多様性を育み、それを活用する農法です。化学肥料や農薬を使わず、安定持続した生産を実現する農法です。

・この農法は除草の手間がほとんどかかりません。田植え以降、草取りのために田んぼに入る必要はありません。（十分な圃場・水管理が求められます又、天候・気象条件による影響を受け、リスク管理は欠かせません。）

〇ビオトープ、深水管理に耐え、多様な生きものが元気に育つ田んぼづくり

〇４．５葉齢の薄まきな丈夫な苗づくり

○１～３回代かきと田植え同時の有機資材散布と深水管理で田んぼに入らず抑草
○成苗（大人の苗）疎植栽培で健康なイネを育て、病気知らずの安定多収を実現
○生きもの豊かな田んぼで害虫の異常発生を抑制

・農家・非農家とも基本は同じ栽培技術です。
・水管理は地域全体で水利組合を形成し、合意・了解して協働して進めます。
　入間川から寺山堰及び笠間堰により又井戸掘削（今年度）による充分な水
・非農家は”手作り自給運動”として、農を日常化、暮らしに取り入れ作る感動を実現できます。
・農家は生物多様性農業を科学的根拠をもって復活させ、環境と農家経済を両立しましょう。

■　概要

○対象圃場：初雁の里・はるみず田んぼ
　プロジェクト田んぼ-（福田）ービオトープ付２反２枚、（府川）２反２枚　　計８反
○事業内容：米生産と会員供給事業
　参加者による農作業と高梨農園及び小林農園の機械作業受委託で米生産を行う。
　成果物供給はプロジェクト参加会員に頒布する。
　農作業参加会員へのポイント付与については、検討していく。
　収量計画（見込み）　５．５俵×８＝４４俵＝２６４０ｋｇ（玄米）

■　プロジェクト会員の募集

○ＰＪ参加費　：　１１，０００円
ＮＰＯ法人かわごえ里山イニシアチブ加入が条件となります
(別途に継続会員は年会費 2000 円、新規会員は入会金 1000 円年会費 2000 円、団体会員は一口 5,000 円です)
・参加費内訳　①農園施設入園料及び米生産の農家作業委託費用
　②プロジェクト運営費用（資機材備品費用、通信連絡費、傷害保険料）

○募集期間：２０１８年３月～４月まで　　限度　９０名（収量計画の約７割）

○オリエンテーション（説明会）　　場所：川越市北部ふれあいセンター
・日　時：　第１回　２０１８年３月　３日（土）
　第２回　２０１８年３月１８日（日）

○PJ 参加申込：所定用紙に必要事項を記入し、参加費を添えて申し込み（振込可）。
○PJ 特典：１．**無農薬無化学肥料米（プロジェクト米）　２０kg（玄米）**
　※　頒布方法は別途ご案内いたします（配布期間１０～１２月予定）
　２．田んぼの農業体験はいつでも参加できます。
　３．自然体験・加工体験「生きもの観察会」「工芸品づくり」に参加できます。

４．有機農業栽培技術が取得できます（有機稲作ポイント研修会の紹介）

■初雁の里･予約登録米制度

〇予約登録米：　“小江戸初雁・耕福米「無農薬無化学肥料栽培米」”

今年度はプロジェクト参加者へは３月から８月までの予約登録期間受付にて秋の配布を受けます。（本来は作付け前（毎年２・３月）に予約すれば、生産者は安心して生産に取組め、秋の収穫に過不足なく供給可能ですが次年度以降の課題とします。）

プロジェクト米は限定されますが、同じ栽培基準の無農薬米を会員農家の高梨農園、小林農園から**予約登録申込をすることで優先的に供給**いたします。

・年間通しての予約、贈答品・お歳暮としてもご利用ください。

★生物多様性を活かした米づくり

〇活動企画

・参加会員は多種多様な関わり方があることから、企画全部への参加は求めていません。興味のある企画及び作業に積極的にご参加ください。（田んぼ活動企画一覧）

・“生きもの育む栽培技術”については高梨農園･高梨耕治氏と NPO 法人民間稲作研究所･稲葉光國氏から指導・助言を頂きます。“田んぼの生きもの調査”については食楽フードを主宰する林鷹央氏に指導・助言を頂きます。自然と共生する里山づくりに奮ってご参加。

・参加会員の田んぼ出入りは自由。但し、事務局にその旨連絡をお願いします。

・農作業の他にも、里山づくり・地域づくりのマコモ栽培及び日本ミツバチ飼育等の活動、地域行事のご案内など地域交流企画、楽しくそして学べる企画に優先的に参加可能です。各グループで自主企画実施に当たってはご協力致します。

★プロジェクトの運営について

〇参加者：非農家者の消費者は主食の一部となる「農」を楽しみ参加＝手作り自給運動。

〇農家：田んぼ・農家施設を提供し、米づくり指導及び機械作業で参加。

〇かわごえ里山：プロジェクト運営の取りまとめ・調整の役割を致します。

・地域農業者（高梨耕治氏、小林順吉氏及びサポーターズ)、非農業者（参加会員)、かわごえ里山の３者が協力して進めます。

・【かわごえ里山田んぼ通信】メール一斉同報（事務局発）

②【2018 農作業計画】、【イベント案内】、【速報・急なお知らせ／ご連絡】の３種類を発信します。

②【生育情報・農作業情報（経過)】

〇　**東洋大学（小瀬研究室）**とは、栽培技術研究･環境モニター調査で協力体制を持ちます。

〇　**NPO 法人民間稲作研究所**とは、栽培技術提供、生育調査（７月／年）で協力を頂きます。

〇　**くらふーど（林鷹央代表）**とは田んぼの生きもの調査の指導・経年調査により協力を頂きます。

２０１８年度

「生きもの育む田んぼプロジェクト」主要行事

子どもから大人まで、老若男女、みんなが一緒に楽しく学び、遊ぶ活動・農作業をイベントに！参加をお待ちしています。

項　　目	月　　日	参　加　費	内　　容
種まき	４月２８日（土） ９：００集合 ９：３０－１２：００	会員　―　無料 一般　―　３００円	種類はコシヒカリ。種まきから１か月かけ丈夫な大人の苗を作ります。置床にポット苗箱を並べてプール育苗。
田植え	５月２６日（土） ９：００集合 ９：３０－１２：００	会員　―　無料 一般　―　３００円	「はるみず田んぼ」で栄養を蓄えた土づくりの田んぼに１５～２０センチに育った苗を植えます。
食べる 田んぼの生きもの調査	７月　７日（土） ９：３０集合 １０：００～１４：００	会員―中学生以上１０００円 一般　―　１５００円 小学生 500 円 未就学児 無料	田んぼは米をつくり、多様な生きものを育み、それらは食の原材料となります。ヒトは土に育てられます。
田んぼの生きもの調査 （動物編）	７月２８日（土） ９：００集合 ９：３０－１２：００	会員　―　無料 一般　―　５００円	田んぼの中をじっと見てください。数十の生きものがあなたを見つめている。水路には川からの魚、メダカも？
稲刈り	９月１５日（土） ９：００集合 ９：３０－１２：００	会員　―　無料 一般　―　３００円	秋晴れ、黄金色に実った稲を手刈りで。そしてコンバインにも乗ってみよう。シラサギがついてくる。何故？
収穫祭	１０月１３日（土） ９：３０集合 １０：００～１４：００	会　員　限　定 新米（２０ｋｇ）と予約登録米の配布開始	新米おにぎり。私たちの塩むすびは冷めても美味しい。マコモタケも小魚も・・・田んぼの生きものだ。

詳細は各イベントごとにご案内いたします。

■生きもの育む有機稲作ポイント研修会

１．主　　催　　ＮＰＯ法人民間稲作研究所（国連生物多様性向上１０年協賛事業）

２．開催場所　　NPO 法人 民間稲作研究所有機農業技術支援センター及び有機圃場
栃木県河内郡上三河町下神主２３３（栃木会場）

３、研修費　　全日程　５０，０００円（昼食を含む）
全課程参加が原則で、終了証を発行致します。事情により、部分参加も受け付けます。（１０，０００円／回）

４、定　　員　　３０名

５、スケジュール　講座　年５回１０日・延べ６０ｈ（１２ｈ×５回）、
１泊２日（１２ｈ）　座学＆実践研修
宿泊については、開催場所近くのホテルをご紹介可能
※近隣の「石橋ビジネスホテル」（4000 円＋夕 800 朝食 500 円）をご紹介

開催日時	研修内容
３月１５日（木）１６日（金）	生ものの多様性を育む循環型有機農業と圃場整備
４月１２日（木）１３日（金）	育苗と草取りしない抑草技術のポイント
５月１７日（木）１８日（金）	２回目代かきと深水管理による抑草技術＆田植え作業の実際
６月２１日（木）２２日（金）	稲の肥培管理、菜種・麦の収穫調整、大豆の有機栽培（播種・中耕）
10 月 18 日（木）１９日（金）	収量調査、稲の栽培成果交流、菜種・小麦栽培の留意点

６、申込先　　当会事務局で取りまとめ、一括して NPO 法人民間稲作研究所に申し込みます。

以上

この件についての、お問合せ・ご質問は事務局 田崎まで。

受付日 2018 年　　月　日

2018 年度「かわごえ里山イニシアチブ」兼、「生きもの育む田んぼプロジェクト」入会申込

入金日　　月　　日	□新規　　月　　日　□継続　　月　　日　□現金□振込
□個人　（ふりがな） □団体　お名前（団体名）	お名前 （生年月日　　年　　月　　日）
ご住所	〒
電話・ＦＡＸ	
メールアドレス	
かわごえ里山/年会費 田んぼﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ参加費	□個人　―　年会費　2000 円・　□入会金 1000 円 □団体　―　一口　5,000 円（　　）口（　　）円 □個人　―　一口 11,000 円（　　）口（　　）円
特記事項	
事務局記入欄	受付ＮＯ

★　当会の入会及びプロジェクト参加申込は、kawagoesatoyama@gmail.com です。

★　振　　込：ゆうちょ銀行から入金の場合　　記 号：10310 番号：21655411
名 義：カワゴエサトヤマ

他金融機関から入金の場合　　店名：〇三八（ゼロサンハチ）
店番：０３８　貯金種目：普通預金：2165541

※　お願い　適用欄□に☑と記入ください。　　キリトリ

領収書（2018 年）
かわごえ里山イニシアチブ年会費等

□　新規　　□　継続

発行日　　月　　日　　ＮＯ

☆　　様

金額　　円

入金日　　月　　日　□現金　□振込

かわごえ里山イニシアチブ
会計担当　　印

領収書（2018 年）
生きもの育む田んぼﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ参加費

□　新規　　□　継続

発行日　　月　　日　　ＮＯ

☆　　様

金額　　円

入金日　　月　　日　□現金　□振込

かわごえ里山イニシアチブ
会計担当　　印